

那須塩原市 GIGA 3カ条

私たちはタブレットを利用するときに、次のことを実践します。

- 一、自分の可能性を広げ、学びを深めるために活用します。
- 一、みんなと協力し、学び合います。
- 一、人が嫌がることや人を傷付けることをせず、安全に使います。

タブレット活用のルール



使用時間を守り就寝1時間前からは使わない。 画面に近付きすぎず、正しい姿勢で使う。 撮影・録音などは許可を取ってから行う。 アカウント(IDやパスワード)を教えない。 自分や他人の個人情報をお教えしない。

市教育委員会作成「タブレット活用のルール」より抜粋



ICT教育を通じて育まれる、機器や情報を使いこなす力。その力を生かし、塩原小中学校児童生徒会の皆さんは、ICTを活用するときのルールを自分たちで考えてまとめました。

ICTとコロナ禍の活動

僕が5年生のときに電子黒板が導入され、デジタル教科書を中心に、ほとんどの授業で使うようになりました。この春に導入されたタブレットは、調べ物や話し合いのときなど幅広く使っています。

電子黒板は、授業以外にも使えます。僕たち児童生徒会はコロナ対策として、集会や児童生徒総会をビデオ会議で行いました。執行部がカメラの前で話し、他の児童生徒は各教室で電子黒板を見ながら参加しました。最初は準備に時間がかかったり音声や映像が途切れたりと不便もありましたが、児童生徒が密にならないためにこの方法を選びました。

教える側の変化、生徒の変化

より良い使い方を自ら考える

学校でさまざまな機器に触れたこと

ルールを守って使いこなそう

もっと使いこなしてみたい

機器を使うことで、校内の生徒同士で物事を伝えたり、コミュニケーションを取ったりすることができるようになりました。いつかは、他の学校の生徒ともビデオ会議ができればいいなと思っています。

Interview



児童生徒会担当
塩原小中学校
こいずみ すみえ
小泉 澄恵 先生

Interview



児童生徒会長
塩原小中学校 9年生
きみしま りく
君島 璃久 さん

特集
ICTが拓く
子どもの学び
- 完 -